

御中

雑誌掲載論文内報

下記のとおり掲載論文目次をあらかじめ内報いたします。御覧の上、貴社製品の関係ある論文がございましたら、広告掲載にご利用くださるようお勧め申し上げます。

(株)医学書院 販売・PR部 TEL 03-3817-5696

誌名 臨床整形外科 (月刊)

巻号 第57巻 第12号 2022年12月号
発行 B5判 8500部 オフセット
広告締切 2022年10月16日
発行予定 2022年11月30日

※広告料金の詳細につきましては、お申し込み先の広告代理店にお問い合わせください。

区分	論文題名	執筆者名	所属
特集	特集／大腿骨近位部骨折治療の改革		
	緒言	白濱正博	川崎病院
	1. 大腿骨近位部骨折治療における多職種連携とレジストレーションの必要性—機能回復のための早期手術のため	重本顕史	富山市立富山市民病院
	2. 分類による整復位と合併症—外反、後捻、嵌入変形に対する整復の必要性と予後	脇 貴洋	明石医療センター
	3. 骨接合術、整復法と新しいインプラントの使い方—ピン・スクリューの本数とサイドプレートの有無の使い分け	依光正則	岡山大学大学院
	4. 早期機能回復を目的とした人工骨頭の機種選択と進入—近位 or 遠位設置型？ 前方 or 後方、または側方アプローチか	馬場智規	順天堂大学
	5. セメントレスシステムかセメントシステムか、BHAかTHAかの選択—年齢、活動性、骨粗鬆症の程度で判定？	井上尚美	仙台徳洲会病院
	6. 術前分類法と術後分類法の意義—どの分類法が有用か	福田文雄	北九州総合病院
	7. 解剖学的整復を目指して—整復位得られていますか	塩田直史	岡山医療センター
	8. 骨折型、骨粗鬆によるインプラントの選択と固定法—いつも同じインプラントでいいのですか	中嶋隆行	おゆみの中央病院
	9. 後外側骨片の意義と処置—どのような症例で必要か、整復法と固定法について	徳永真巳	福岡整形外科病院

特記事項

※冊子制作の都合上、発行予定日、掲載内容、および執筆者を予告なく変更する場合がございますことをご了承ください。確定内容につきましては、弊社編集室へ直接お問い合わせください。